

第17回
定期演奏会

和み

NAGOMI
SYMPHONY
ORCHESTRA

交響楽団 指揮: 井村誠貴

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA

演奏曲目

アントニン・ドヴォルザーク:交響詩「英雄の歌」Op.111 B.199

第17回の定期演奏会はチェコの作曲家ドヴォルザークの交響詩から始まります。「新世界」、「アメリカ」、「ドヴォン」など、多ジャンルに渡る数々の名曲を遺しているドヴォルザーク。彼が晩年にせまる時期に、交響詩を立て続けに5つ作曲したことをご存知でしょうか? 「陰に隠れた名曲」という言葉がありますが、まさにこのこと、という曲たちです。その中でも最後に作曲されました。エルベンの詩を離れて、特に標題を持たない、四楽章制の交響曲を彷彿とさせる構成です。闘争心、嘆き、慰め、勝利。「英雄の戦い」を感じる交響詩をぜひお楽しみください!

ベドルジハ・スメタナ:連作交響詩「我が祖国」 全曲

メインでは、チェコの作曲家、スメタナを代表する名曲「我が祖国」の全曲演奏に挑戦します!ピアニストとしての実力も有名ながら、作曲家としても、ピアノ・オペラなどにわたり名曲を遺す彼。「チェコ音楽の祖」と評される彼が、チェコ国民音楽として記念碑になるような作品を作ろうと考え、創作した作品です。チェコの地理などの表題が付けられ、第2曲目は通称「モルダウ」としても知られます。全曲演奏は、アマチュアオーケでも珍しく、今回も和み交響楽団として未知の挑戦です!

和み交響楽団といつも「未知の挑戦」をさせていただき、井村誠貴先生と「チェコシリーズ」への挑戦に、どうぞご来場いただくと幸いです! よろしくお願ひ致します!

2018 9/2 SUN

13:00開場
14:00開演

入場料

¥1,000 12:30より当日券販売
(全席自由) ※未就学児のご入場はご遠慮願ひます。

当日、託児室を設置いたします(6ヶ月以上の児童対象・定員あり・1人2,500円) ご希望、お問い合わせは2018年8月19日(日)までに nagomi_orch@infoseek.jp まで、メールにてご連絡下さい。



- チケット
お問い合わせ
- 京都コンサートホールチケットカウンター TEL:075-711-3231/3090(10:00~17:00)
 - 和み交響楽団 事務局: nagomi_orch@infoseek.jp ホームページ: nagomiorch.web.fc2.com
 - ローソンチケット 発売中【Lコード: 52844】
0570-084-005 (音声自動応答24時間) http://l-tike.com ローソン店頭Loppi
 - JEUZIA 三条本店3F(APEX管弦楽器) TEL:075-254-3750
- ※当団でのチケットの払い戻しは致しかねますので、予めご了承ください

京都コンサートホール 大ホール

京都市営地下鉄烏丸線 北山駅下車 1番出口 南へ徒歩3分

- JRの場合: JR京都駅にて地下鉄烏丸線に乗換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約16分
- 阪急の場合: 阪急烏丸駅にて地下鉄烏丸線四條駅に接続、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約12分
- 京阪の場合: 京阪丹波橋駅にて近鉄に乗換え、竹田駅にて地下鉄烏丸線に乗換え、国際会館行で北山駅下車。乗車時間約24分(丹波橋駅からの直通電車もあります) ●住所: 左京区下鴨半木町1-26 TEL: 075-711-2980

駐車場のご案内 午前8時~午後11時 但し、休館日を除きます。30分毎 ¥250 約100台収容可能 どなた様でもご利用いただけます。

井村 誠貴

MASAKI IMURA



指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にもオペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらにOsaka Shion Wind Orchestra、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カーヂュ・オ・フォーール」(市村正親)を

皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レミゼラブル」(山口祐一郎)、「ベテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安欄けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、南こうせつ、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪速のモーツァルト:キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなくとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン!」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲を一人で指揮。そのギネス級の活動には大きな話題となった。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。7回の演奏会で4200万円を超える義援金を届けた。クラシック音楽にとられない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。春日井市第九演奏会音楽監督、関西音楽人のちから「集」代表。

和み交響楽団

NAGOMI SYMPHONY ORCHESTRA



当団は、「学生時代に各方面の大学オーケストラで喜怒哀楽を共にした仲間達と、もう一度音楽をやりたい!」という熱意から、2007年3月に青春時代の話に花を咲かせる中で誕生した、京都を本拠地とする楽団です。「和み交響楽団」という命名の由来は、「演奏会に足を運んで頂いたお客様に和んでいただきたい」、「和(=ハーモニー)を大切にしたい音楽をしたい」、そして「一緒にいると和める仲間でありたい」という団員全員の想いが込められています。当初は京阪神の大学の交響楽団、弦楽団、吹奏楽団等で活躍したメンバーを中心に構成されていました。しかし現在はその枠を超えて、京阪神どころか中には関東圏からも「和みの音楽をやりたい!」というメンバーが集まっています。団名に込めた思いの通り、私達の演奏で皆様に「和み」を感じて頂けるよう、さらなる熱意をもって約50名の団員で練習に取り組んでおります。